

諸人のここに学びて一校長室から見える風景―(19)

達徳会館を見上げて

実習助手の先生が、「ちょっと見てください!」と声をかけてくれました。玄関前の植栽(前回お伝えしたものは別の場所です)を校務員さんがカワイイ感じに剪定してくれたとのこと。さっそく行ってみると、確かに「カワイイ!」。ちょっとした遊び心になごみました!そして、視線を移すと久々の青空に達徳会館が映えていました。達徳会館は本校同窓会「達徳会」の同窓会館です。

昨日、学校説明のための資料を作成していたのですが、学校の沿革の説明にこの「達徳会館」を取り上げたところでした。改めて達徳会館を見上げると、品格のあるたたずまいに圧倒されます。

達徳会館は当初、兵庫県豊岡尋常中学校本館として建てられました。豊岡尋常中学校は明治 29 年(1896 年)の開校ですから、学校創立時から豊岡高校を見守ってきた建物です。当時は、校長室や教員室があったようです。その後、昭和 11 年(1936 年)に建て替えられることになり、それを惜しんだ同窓会がこの建物を譲り受けられ、現在地に移築されたものです。同窓会の名称から「達徳会館」とされました。平成 20 年(2008 年)には兵庫県指定重要有形文化財(建造物)として指定を受け、現在に至っています。

建物はいわゆる「擬洋風建築」で、明治時代初期から 20 年代にかけて、伝統技術を身につけていた大工や棟梁が、洋風建築を参考に作ったものだそうです。玄関の柱の上部にある草飾りなど細部にわたり当時の技術や洋風建築に取り組もうとする心意気を感じます。



この「達徳会館」を大事に守ってこられた同窓会、卒業生のみなさまの思いを受け継ぎながら、大切に使用させていただきます。

